



MIRAI プログラム・2018 平成 30 年度結果概要

1. プログラム概要

外務省では、平成30年度、「対日理解促進交流プログラム」の一環として、「MIRAI プログラム」との名前で、日本の政治・社会・歴史及び外交政策に関する理解促進や日本の魅力等の積極的な発信を目的とし、欧州・中央アジア・コーカサス地域から、将来の活躍が期待される大学生・大学院生及び若手実務者179名を招へいしました。

本プログラムでは、地域又はテーマ毎に計5グループに分けて招へいを行い、第1グループ（西バルカン地域）は平成30年10月31日から11月7日まで、第2グループ（政治・安全保障）は平成30年11月7日から14日まで、第3グループ（経済・ビジネス）は平成30年12月5日から13日まで、第4グループ（中央アジア・コーカサス地域・「法の支配」）は平成31年1月16日から23日まで、第5グループ（科学技術）は平成31年1月23日から30日までの日程で、それぞれ実施しました。

参加者は、行政機関での講義の他、企業訪問、大学訪問、地方訪問、文化体験を通じ、日本を取り巻く国際情勢や日本の社会・経済・科学技術について理解を深めました。日程を終えた参加者からは、今後も日本に関心を持ち続け、またプログラムで育んだ日本との繋がりや学生交流で生まれた友情を大切にしていきたいとの思いも聞かれており、帰国後にそれぞれSNSやその他のメディアを通じて、日本で学んだことや日本の魅力等を積極的に発信しています。この様に、本プログラムは、国際社会における対日イメージの向上や、日本に対する関心を持続的に高める役割を果たしています。

2. 参加国・人数及び訪問地

第1グループ（西バルカン）

西バルカン諸国 6カ国, 18名

No.	国名	人数 (名)	No.	国名	人数 (名)
1	アルバニア	4	4	ボスニア・ヘルツェゴビナ	3
2	コソボ	3	5	マケドニア	3
3	セルビア	3	6	モンテネグロ	2
総計					18

訪問地：東京都, 広島県, 京都府

第2グループ（政治・安全保障）

欧州25カ国, 40名

No.	国名	人数 (名)	No.	国名	人数 (名)
1	イタリア	3	14	ハンガリー	1
2	ウクライナ	1	15	フィンランド	1
3	英国	4	16	フランス	4
4	エストニア	1	17	ブルガリア	1
5	オーストリア	1	18	ベラルーシ	1
6	オランダ	1	19	ベルギー	2
7	ギリシャ	1	20	ポーランド	1
8	スイス	1	21	ポルトガル	1
9	スウェーデン	2	22	ラトビア	1
10	スペイン	3	23	リトアニア	1
11	デンマーク	1	24	ルクセンブルク	1
12	ドイツ	4	25	ルーマニア	1
13	ノルウェー	1			
計					40

訪問地：東京都, 広島県

第3グループ（経済・ビジネス）

欧州26カ国, 39名

No.	国・機関名	人数 (名)	No.	国・機関名	人数 (名)
1	アイスランド	1	14	チェコ共和国	1
2	アイルランド	1	15	ドイツ	4
3	イタリア	3	16	ハンガリー	1
4	ウクライナ	1	17	フランス	4
5	英国	4	18	ベラルーシ	1
6	エストニア	1	19	ベルギー	1
7	オランダ	1	20	ポーランド	1
8	キプロス	1	21	ポルトガル	1
9	ギリシャ	1	22	マルタ	1
10	スイス	1	23	モルドバ	1
11	スウェーデン	1	24	ラトビア	1

12	スペイン	3	25	リトアニア	1
13	スロバキア	1	26	ルーマニア	1
総計					39

訪問地：東京都, 愛知県, 静岡県

第4グループ（中央アジア・コーカサス地域・「法の支配」）

中央アジア・コーカサス地域 8カ国, 40名

No.	国・機関名	人数 (名)	No.	国・機関名	人数 (名)
1	アゼルバイジャン	5	5	キルギス	5
2	アルメニア	5	6	ジョージア	5
3	ウズベキスタン	5	7	タジキスタン	5
4	カザフスタン	5	8	トルクメニスタン	5
総計					40

訪問地：東京都, 京都府, 広島県

第5グループ（科学技術）

欧州25カ国, 42名

No.	国・機関名	人数 (名)	No.	国・機関名	人数 (名)
1	アイルランド	1	14	ドイツ	4
2	イタリア	3	15	ノルウェー	1
3	ウクライナ	1	16	ハンガリー	1
4	英国	5	17	フィンランド	1
5	エストニア	1	18	フランス	4
6	オーストリア	1	19	ブルガリア	2
7	オランダ	1	20	ベルギー	1
8	クロアチア	1	21	ポーランド	1
9	スウェーデン	1	22	ポルトガル	1
10	スペイン	3	23	ラトビア	1
11	スロベニア	1	24	リトアニア	1
12	チェコ	3	25	ルーマニア	1
13	デンマーク	1			
総計					42

訪問地：東京都, 広島県

3. 日程

第1グループ（西バルカン）

- 10月31日（水曜日） 本邦着
- 11月1日（木曜日） オリエンテーション, 外務省での講義, JICA訪問
- 11月2日（金曜日）－3日（土曜日） 広島視察（平和記念公園・資料館等）
- 11月4日（日曜日） 京都視察
- 11月5日（月曜日） 上智大学での学生交流
- 11月6日（火曜日） 成果報告会, 都内視察
- 11月7日（水曜日） 本邦発

第2グループ（政治・安全保障）

- 11月7日（水） 本邦着
- 11月8日（木） オリエンテーション, 外務省での講義
- 11月9日（金） 慶應義塾大学での学生交流
- 11月10日（土）－12日（月） 広島視察
（広島平和記念公園, 資料館, 広島城, 宮島等）
- 11月13日（火） 都内視察, 成果報告会
- 11月14日（水） 本邦発

第3グループ（経済・ビジネス）

- 12月5日（水） 本邦着
- 12月6日（木） オリエンテーション, 有識者による講義
- 12月7日（金） 上智大学での学生交流
- 12月8日（土）－9日（日） ホームステイ
- 12月10日（月） 名古屋視察, 伝統文化体験（有松絞り）
- 12月11日（火） 自動車工場視察
- 12月12日（水） 都内で民間企業訪問
- 12月13日（木） 成果報告会
- 12月14日（金） 本邦発

第4グループ（中央アジア・コーカサス地域・「法の支配」）

- 1月16日（水） 本邦着
1月17日（木） オリエンテーション, 外務省での講義
1月18日（金） 最高裁判所, 東京地方裁判所視察・研修
1月19日（土） 京都視察
1月20日（日） 広島視察（平和記念公園, 資料館, 宮島等）
1月21日（月） 都内視察, 都内法律事務所における研修
1月22日（火） 成果報告会, 早稲田大学法科大学院における講義
1月23日（水） 本邦発

第5グループ（科学技術）

- 1月23日（水） 本邦着
1月24日（木） オリエンテーション, 外務省での講義, 都内民間企業視察
1月25日（金） 芝浦工業大学での学生交流
1月26日（土）－27日（日） 広島視察
（広島平和記念公園, 資料館, 宮島, 伝統文化体験等）
1月28日（月） 都内研究施設・民間企業視察
1月29日（火） 成果報告会
1月30日（水） 本邦発

4. MIRAI プログラム記録写真

第1グループ（西バルカン）



11月1日 JICA地球ひろば訪問



11月5日 上智大学での文化体験



11月5日 ワークショップの様子



11月6日 成果報告会

第2グループ（政治・安全保障）



11月8日 外務省での講義



11月9日 慶応義塾大学学生との交流



11月11日 広島での被爆者講話



11月13日 最終日ワークショップ

第3グループ（経済・ビジネス）



12月6日 オリエンテーション



12月12日 上智大学での講義



12月10日 名古屋城視察



12月15日 都内民間企業訪問

第4グループ（中央アジア・コーカサス地域・「法の支配」）



1月19日 春光院座禅体験



1月21日 大型法律事務所での講義



1月22日 成果報告会



1月22日 早稲田大学での講義

第5グループ（科学技術）



1月25日 芝浦工業大学学生との交流



1月26日 広島平和公園視察



1月27日 茶道体験



1月28日 民間企業視察

6. 参加者の感想

第1グループ（西バルカン）

- プログラムの中で、書道や広島における被爆者との対話といった日本の文化・歴史を学ぶ機会があったことは、非常に貴重であった。また、JICAを訪問し、日本が国際社会において多大な貢献をしていることを知ることができ、非常に有益であった。特に、JICAのアフリカ地域での支援について関心が深まった。また、本プログラムでは、西バルカン諸国6か国から学生たちが招へいされたが、各国の学生が直面している現状や問題点には共通のものがあり、お互いがどの国出身であるということ意識せずに、日本という場で語り合えたことは非常に有益であった。

（アルバニア・大学生・男性）

- 日本の大学生との交流において、彼らが将来へのビジョンをしっかりと持っていることが印象的であった。また、広島の原爆博物館は、誰かを責めるのではなく、「この悲劇を二度と起こしてはならない」ということだけをメッセージにしていることが非常に素晴らしいと思った。バルカンでは様々な紛争があったが、まさに原爆博物館の精神を見本にしていくべきだと考える。経済関係の視察先がなかったのが残念だったが、西バルカン地域と日本との経済関係の展望についてのブリーフは興味深かった。

（セルビア・大学生・男性）

第2グループ（政治・安全保障）

- 印象に残った事柄は、断然、被爆者の証言。聞く前にはただの歴史的事実だったことが、聞いた後では身近な現実となった。私は彼女の証言をずっと抱えていく、二度とあの恐怖を忘れることがないように。

（オランダ・大学院生・男性）

- 日本人と触れ合うにつれ、私たちの違いは最初思ったほど大きくないということを知った。自分と同じような日本の若者と出会い、同じように不安を感じ夢を追い、国の状況を憂い変えたいと願っていることを知った。世界の別の場所でも努力している人がいるということを知り、さらに夢を追う気持ちが強くなった。ずっと訪れたかった国に来られて幸せを感じ、被爆講話で悲しみと同情を感じ、日本庭園では平和を感じた。日本は親切な人々や歴史、伝統を通じていくつもの感情を湧き起こさせる。その中でも一番強く心に残ったのは被爆者の証言で、とても言葉で言い表すことができない。しばらくの間冥福を祈り、世界中に彼女の願いを伝えていき

たい。

(スペイン・大学生・男性)

第3グループ (経済・ビジネス)

- 自動車工場(トヨタ)では、オペレーションの詳細について見聞することができ、大変興味深かった。日本庭園はとても美しかった。ホームステイでは、伝統文化や食事、風呂、遊びなどの日本独特のやり方について知った。

(ポルトガル・大学生・男性)

- ホームステイが、私にとって絶対に一番のプログラムだ。日本を研究している学生として、日本や日本文化について多くのことを学んだし、日本語を練習するまたとない機会だった。

(英国・大学生・女性)

第4グループ (中央アジア・コーカサス地域・「法の支配」)

- 外務省の職員による国際裁判対策に関する講義では、他国との投資紛争等が起きた時の裁判所の紛争解決手段、国際裁判所に訴える事例等について学ぶことができ、知見を広めることができた。最高裁を訪問し、大法廷を見学することができ、大変感動した。また、日本で最大規模を誇る法律事務所から講義を受けられたことについても嬉しく思う。

(キルギス・大学生・女性)

- 京都訪問で金閣寺を間近に見ることができ、感動した。また、広島訪問では、被爆者講話を聞き、共に国際社会の平和のために協力を行っていこうと強く感じた。

(ジョージア・検察官・男性)

第5グループ (科学技術)

- 日本のノーベル賞受賞の多くが化学賞であるので、実は日本の化学の分野についてもっと知りたいと思っていた。学校交流は大変よかった。日本人が持続可能性に重きを置いていることがよくわかった。教員の方々と自身の科学的見解や共同研究などの手法について意見交換できればもっとよかった。理研もユウグレナも私の専門分野の話題ではなかったが、大変ためになった。彼らは高いレベルで科学的な仕事を実践しており、感激した。外務省での講義も興味深かったが、日本の歴史や日本と他国との関係についてもっと教えていただきたいかった。滞在したホテルも素晴らしく、大浴場はまたとない経験となった。広島への旅は大変楽しく、最も思い出深い時間の一つ。特に自然と宮島等の歴史的建造物が気に入った。ま

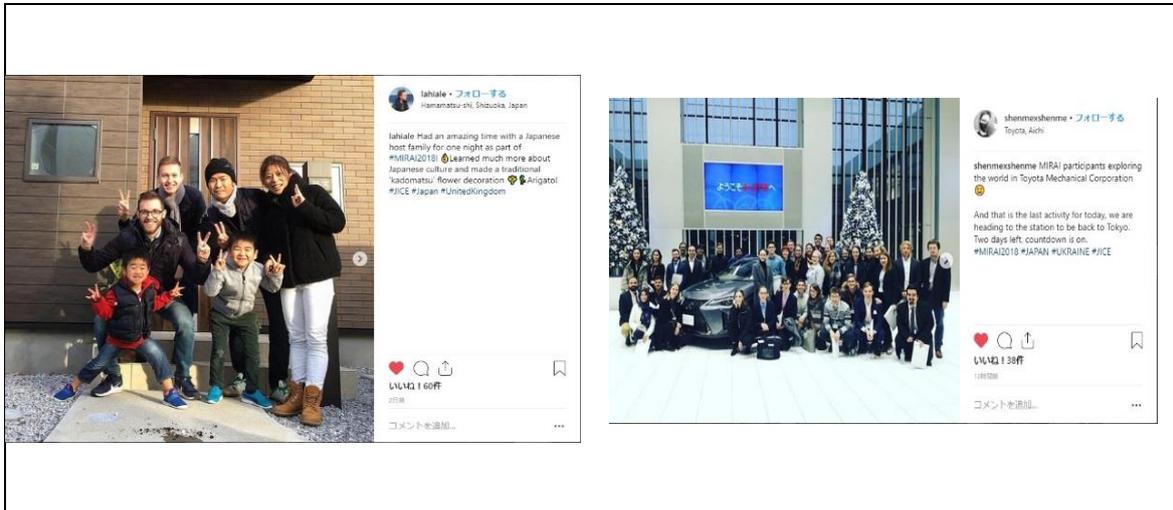
た、欧州の他国の参加者との交流もでき、政治や科学、そして自国について語るスキルも高まったように思う。

(ラトビア・大学生・男性)

- 研究ランキングの順位下落、人口減と高齢化の関係という日本が直面している問題に興味深かった。近い将来日本で研究かまたは働きたいと思っているので、日本が外国人の移住と就労について色々と考えているということは貴重な情報だった。企業訪問では、直接自分の研究分野に関係はなかったものの、様々な日本の企業の訪問は興味深かった。芝浦工業大学では、学生との交流から色々学び、自分の日本語スキルを使う良い機会となった。特に、コーディネーターが色々な話をしてくれたのが楽しかった。また、自由行動の様々な場所、通りやお店や公衆浴場で出会った日本人との交流も忘れられない。最も印象深かったのは被爆者証言。彼女の中にくじけない心と希望を見ることができ、復讐ではなく世界平和を祈る姿に感動した。

(オーストリア・大学院生・男性)

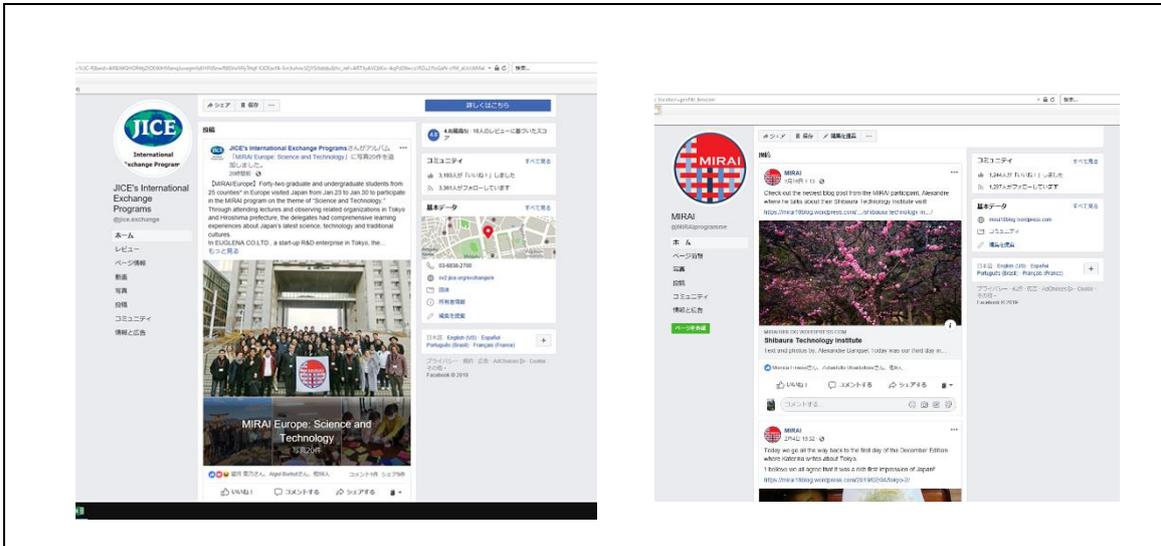
第3 グループ (経済ビジネス)



第4 グループ (中央アジア・コーカサス地域・「法の支配」)



第5グループ (科学技術)



プログラム参加中の様子や参加者の声は SNS を通して広く発信されています。

Facebook : <https://www.facebook.com/MIRAIprogramme/>

Twitter, Instagram, Facebook ハッシュタグ : #MIRAI2018 #EFILafs MIRAI